

# 平成 26 年度 基礎評価シート

		担当部課等名	消防課					
基本構想	交通環境と防災対策の向上		重点的方針	3. 「安全・減災都市二宮」づくり				
分野別方針	(1) 消防・救急活動の充実強化		実施計画事業	1) 消防・救急活動事業 (No.68)				
予算等事業名	1市2町高機能消防指令センター整備事業							
目的	消防・救急救助活動業務の高度化に伴い、円滑な活動と事業の充実を図り、安全・安心の町づくりを進めます。							
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防救急デジタル無線の活動波を平塚市、大磯町及び二宮町が共同で整備し、平塚市に指令センターを設置して指令専従職員を両町が派遣する計画になっている。</li> <li>指令センターは要請を受けて、大磯町及び二宮町に回線接続して指令する。</li> </ul>							
根拠法令・条例等	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防組織法の一部を改正する法律が公布され、改正後の消防組織法に基づく「消防の広域化に関する基本指針」が示されている。これに基づき「1市2町消防指令業務の共同運用等検討委員会設置要綱」及び「平塚市、大磯町及び二宮町消防通信指令事務協議会設置に関する協議書」がある。</li> </ul>							
体制	<input checked="" type="checkbox"/>	町職員実施	<input type="checkbox"/>	一部委託あり	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/>	その他

## 中間評価(10月1日現在)

1) 実施計画に示す事業内容どおりに進捗しているか								
<input type="checkbox"/>	① 計画どおりに進捗している		<input type="checkbox"/>	② 計画より遅れている		<input type="checkbox"/>	③ 未実施	
②、③に対する理由								

2) 現時点の状況から次年度以降の経費の削減等は検討できるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 削減は困難				
理由								

3) 今まで以上の事業の効率化は図れるか								
<input type="checkbox"/>	① 検討できる		<input type="checkbox"/>	② 効率化は困難				
理由								

中間評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 計画未実施のため継続の必要性がない(休止・廃止)				
	【説明】				

## 総合評価

実績	平塚市、大磯町、二宮町が行っている消防救急デジタル無線の活動波共同整備事業と連携している。				
中間評価との相違点	—				
事業指標(数値指標)	会議回数				
前期(27年度)目標値	18		【目標値の根拠または数値で表わせない指標】		
単位:	回		・1市2町消防指令業務の共同運用等検討委員会設置要綱 ・平塚市、大磯町及び二宮町消防通信指令事務協議会		
実績値	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	6				

事業費の推移と財源の内訳

(単位:千円)

		平成25年度		平成26年度		平成27年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算
直接事業費		0	0				
財源内訳	一般財源						
	国庫支出金						
	県支出金						
	その他						

事業の項目別評価

妥当性	(1) 公費を投入して実施することが妥当な事業か A: 妥当 B: どちらかといえば妥当 C: 妥当ではない	A
	【説明】 ・指令業務は住民からの119番通報を受け付けて火災や救急等の災害種別を決定し出動命令する	
妥当性	(2) 町が主体となって実施する必要があるか A: 町が行わなければならない B: 町が行ったほうがよい C: 委託等の必要がある	A
	【説明】 ・災害発生状況を一元化することで、大規模災害発生時に相互応援体制を早期に構築できる。	
有効性	成果が上がっているか A: 十分成果が上がっている B: 成果が上がっている C: 成果が上がっていない	B
	【説明】 ・複数の消防本部による共同運用により効率面(消防力強化)とコスト面(財政面)で有効である。	
効率性	費用をかけずに成果をあげているか A: 適切である B: 改善の余地がある C: 効率的ではない	A
	【説明】 ・指令センターを1か所に集約することにより、従事職員の効率化や警防要員の増員が期待される	
総合評価	A: 妥当性、有効性、効率性は良好のため現状維持 B: 妥当性・有効性・効率性は良いが、さらに改善の余地がある C: 事業の見直しが必要 D: 事業継続の必要性がない(休止・廃止)	A
	【説明】 ・指令業務を一元化することにより、指令員の削減と警防要員の増員、また指令センターに職員を派遣することにより人事交流が図られる。また、最新式の指令台の導入により迅速な出動指令、現場到着時間の短縮が期待され、さらに大規模災害の発生時には通報初期段階で他市町の応援要否の判断が迅速化されることも期待される。	
今後の方針 (課題・意見等を箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地勘が無い場所からの通報や指令方式の違いによる混乱が懸念される。</li> <li>・高機能指令システムを導入する初期整備用の負担額増が懸念される。</li> </ul>	

◎評価者[担当主管課長]

<input checked="" type="checkbox"/> ① 現状維持	<input type="checkbox"/> ② 改善して町が実施	<input type="checkbox"/> ③ 改善して町以外が実施	<input type="checkbox"/> ④ 廃止
理由	・各市町とも指令システムの一元化により単独整備するよりも整備費用や維持管理費の低減が期待できる。		
今後の方向性	・高機能な消防指令センター整備により、119番通報の場所を瞬時に把握し、災害場所の確定が素早く行える発信地表示システム、地理情報システム、指令管制システムを、それぞれ効率よく運用して災害による被害の減少と救命率の向上を果たし、住民が安心して暮らすことのできる生活環境を確保して行く。		